



IDFプレスリリース

2017年8月29日、ブリュッセル発

乳の将来はあるーただしグローバルな時を移さずに

酪農乳業は世界の食糧手当に重要な役割を果たしている。栄養および環境のインテグリティを改変する者にはグローバルなレベルで力強く対応すべきである、とジュディス・ブライアンスIDF会長は述べた。



内蒙古のフフホト市で開かれた中国酪農乳業協会の年次会議で、ブライアンス氏は乳製品需要が世界中で増加する中、多方面から訪れる機会を逃さないようにしたいと述べた。

さらに同氏は次のように述べた。「生乳は生産量が最も多く、しかもグローバルに取引されている貴重な農産物のひとつです。乳は毎日、世界の人々に栄養と価値をとどけ、人々の生活を豊かにしています。」さらに、「国連が持続可能な開発目標を定めて、全世界にアクションを求めたときに、乳は人々の栄養と健康、地球の健康に関係する多くの目標に取り組み、貧困と飢餓から人々を救い上げ、女性に力を与え、その結果として家族にも力を与えます。このような課題に乳が解決策の一助になることが明らかとなりました。」

「したがって、我々の業界が解決策の一翼を担うというのなら、万全の準備をしてその機会を捉えなければなりません。世界の人口が増え続け、2050年までに90億人を超えると予想されています。世界の人口動態も変化し続けていますが、まもなく新生児

数よりも高齢者数のほうが多くなると言われています。また人類の繁栄とともに乳の消費量も増えることも知られています。」

「正しい乳製品と正しい乳原料を開発し、さらに消費者が乳製品の有益性を理解してくだされば、消費者のニーズを満たすという乳の役割は果たせます。乳の将来を確かめるには、常に変革を求める姿勢が必要です。文化的に受け容れられ、栄養豊かで、安全かつ持続可能に、またお手ごろな価格で、消費者の生活に寄り添うやり方で届ける必要があります。このことは大陸や国ごとに変わるものです。そして自己満足せず、消費者や世界に向かって、乳が大切な食品であると訴えることを忘れてはなりません。」

「乳には高い品質の栄養が含まれるとは長く認められてきた事実です。しかし、我々の業界はアンチミルクグループや植物ベースの代替品から攻められています。我々の業界は、環境成績についても疑問符が付けられています。業界として、なぜ酪農と乳製品が世界に食糧を手当てする上で不可欠なのか、また、なぜ国連の持続可能な開発目標の達成に役立つのかについて行政担当者に向けてぶれずに主張をしていることを承知しています。あらゆる機会を捉えて行動することが不可欠です。」

ブライアンス氏は聴衆に向かって次のように語った。現時点では世界の乳製品市場には楽観論が支配している。但し、乳製品市場は常に価格変動サイクルを経験してきた。この価格変動サイクルは、生乳生産者と乳業者に押しなべて深い影響を与える可能性がある。また、「この困難な時期を通じて生乳生産者を支援する手法の開発を継続する必要があります。」と述べた。

2016年、FAOはIDFと共同で、デーリーロッテルダム宣言に署名した。その中で、FAOは乳の重要性を認めると同時に、IDFは継続的な改善を誓い、実施する上での原理原則を明らかにした。爾来、多数のIDF会員国がデーリーロッテルダム宣言に署名した。ブライアンス氏は、同宣言の基本方針に賛同した最初の国として中国酪農乳業協会を祝福した。同宣言は、社会経済、健康および環境の要素を勘案しながら、酪農乳業界が酪農乳業システムの持続可能性に一丸となって取り組むことを目指している。

翻訳：JIDF 事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。